

# を問う

9月18日に5人が  
一般質問をしました。

**加藤 光彦** 議員

- ・ 体育館など屋内体育施設のエアコンの完備を要望する
- ・ 防災訓練のあり方を問う

**井田 晴己** 議員

- ・ 飛鳥学園のいじめ対策は

**渡邊 一弘** 議員

- ・ 保育所及び保育園の災害時の対応は
- ・ 小中一貫教育の検証は

**伊藤 秀樹** 議員

- ・ 振り込め詐欺等、防犯の取り組みは
- ・ 豊根村との交流は
- ・ 村の施設を空調化せよ

**橋本 涉** 議員

- ・ 住宅地開発は民間業者の意見を聞き早く進めよ
- ・ 温水プールの無料券の発行を来年度も実施せよ
- ・ 県道、交番前の横断歩道に押しボタン式の信号機をつけよ

## Q. 体育館など屋内体育施設のエアコンの完備を要望する

### A. 改修時期等を捉えながら進める



**加藤光彦** 議員

**Q**

地球温暖化の影響で、ここ数年の

夏場の気温は連日35度を超える日が続くような状

況です。名古屋地方気象台のデータによると、中央公民館ができた約30年前から現在までの変化傾向は気温も熱帯夜の日数も右肩上がりです。上昇しています。異常なまでの猛暑によって熱中症のリスクが高くなると同時に、練習する人は集中力を欠き、練習効率は低下することが避けられません。

特に中央公民館の体育館や柔剣道場は風通しが悪く、空気の対流がほとんどない状況です。自然界における気象の変化に行政としても対応が迫られています。夏場の猛暑に対応するために屋内運動施設にエアコンを完備することを要望するものであります。近年、空調設備も先進技術のシ

ステムが開発され、天井からダクトを吊り下げる方式ではなく、壁に設置し水平冷却する新しい方式の冷房装置が注目されています。コスト的にも従来の空調設備の約50%削減でき、無音・無風ということでバドミントンやビーチボールバレーなどの風を嫌う競技もできるとのこと。村として先進技術の情報収集をし、調査・分析して低コストで効果的な空調設備の導入に向けて動き出していきたい。



村総合体育館

# 策 施

あたっては気温や湿度の基準を設けて、気温や湿度がその数値を上回った時に使用するという節度を持った使い方が望ましいと考えます。現行は原則として6月末までは役場や中央公民館はエアコンが利用できないことになっていますが、基準を超えた場合には6月でも使用できることが合理的で住民の理解が得られると考えます。



久野時男 村長

**A** 昨今の気象状況下においては、屋内運動施設内の室温が体温を超える酷暑となる日が幾日もあり、熱中症についても懸念されております。

既設の屋内体育施設に

エアコン機器の設備を設置することは可能ではあります。建築後30年以上経過しておりますので、建物に新たな荷重負荷等が生じることから、先端技術の冷房システム等の調査を行いながら今後慎重に検討を進めてまいります。

なお、公民館の冷房が6月末まで使えないとのことについては、冷房機器の使用は7月からを基本としておりますが、5月の連休には、冷房が使用できるよう機器の操作の切り替えをおこなっております。操作の切り替え後、気温、湿度等の基準を設けて臨機応変に運用してまいりたいと考えております。

## Q. 防災訓練のあり方を問う

### A. 具体的な施策を検討する

加藤光彦 議員

**Q**

南海トラフ大地震が叫ばれ、村内に避難所の建設が進められようとしている今、並行して避難訓練の質の向上が求められていると思

います。村が年に一度、行なっている防災訓練の内容に海抜マイナス地帯のこの村だからこそ行なわなければならない訓練を取り入れていくべきではないでしょうか。例えば日光川の水位や堤防を監視できるライブカメラを数カ所に設置し、そこからの情報をもとに避難の初動を取る訓練。或いは災害弱者を階段を使って階上へ運び上げる訓練。また、避難所に集まった後は災害時における携帯電話の活用方法（災害伝言ダイヤル・防災ホット

メール）の説明や避難所の資機材の使い方を職員と住民が知識を共有する機会にする。その他にも何年かに一度はヘリコプターを使った自衛隊との合同訓練を行なっていく等々。災害時に即した内容で、しかも本村の実情に合った防災訓練を重ねていくことが被害を最小限に抑えたいと思っております。村の見解をお尋ねします。

忘れてイナイ(171)? 災害伝言 171

などと覚えてください



「災害用伝言ダイヤル」のしくみ

村長

**A**

防災訓練については、平成24年度からは、3・11の東日本大震災を受け、津波避難を中心とした徒歩での避難と避難経路の確認といった訓練へと改めさせていただきます。

訓練内容については、3年をサイクルとして行っていますが、防災訓練の質の向上についても求められています。例えば、避難については、避難所の建物の最上階や屋上に避難するように改めるとともに、現在、避難後に行っている

応急処置等の訓練についても、準備が整っている避難所から、順次パー

テーション等を設置するような、避難所としての機能を整える訓練にするなど、より実践に即した訓練になるよう改善していきたいと考えています。また、ライブカメラからの情報をもとに避難の

初動を取る訓練、または、災害弱者を階段を使って階上へ運び上げる訓練、

さらには、携帯電話の活用法の説明や避難所の資機材の使い方を職員と住民が知識を共有する訓練等についても検討していきたいと考えています。

なお、将来的には、地域の自主防災組織が中心となり、防災訓練等を企画、運営をしていく協力体制を構築し、地域が一体となって、自助・共助で防災力を高めていく組織づくりが必要であるということも考えています。

そこで、飛鳥学園での、

Q. 飛鳥学園のいじめ対策は

A. いじめ・不登校対策委員会を設置し見守る



井田晴己 議員

**Q**

今年の7月名古屋市の中学2年生徒が、マンションから転落して亡くなりました。いじめが原因であると見られています。文科

省学校基本調査によると、今年度上半期の小・中高での、いじめ認知件数は約14万件で、昨年度の2倍であり、その内、生命や身体をおびやかす「重大ないじめ」としての報告が278件ありました。

いじめに関することにつきまして以下の4点をお伺いします。

1点目には、飛鳥学園でのいじめの実態についてお伺いします。

2点目は、いじめに関するのかアンケート調査をされているのか。

実施されているのなら、実施結果を教えてください。

3点目は、いじめに対応するためのマニュアルは作成されているのか。4点目は、いじめにより尊い命を自らなくすことがないように命の大切さをどのように教育されているのかお伺いします。

村長

**A**

最初に、「飛鳥学園でのいじめの実態は」とのことについては、「友達に嫌なことを言われた」「冷たくされた」等、個人間のいさ

かいは、報告があるものの、生命や身体的な危険を及ぼすような深刻な事例はありません。大きないじめにならないよう、生徒の様子の変化を敏感にとらえ、年2回の「Q

Uアンケート」の実施や教師・スクールカウンセラーが相談に乗るなど、問題を小さなうちに発見・対応するよう手だてを講じています。

次に、「いじめに関するアンケート調査の実施」については、小中学



防災訓練での「応急処置」

校とも各学期に1回ずつアンケートを実施して

ます。また、「いじめ対策についてのマニュアルの有無について」は、マ

ニユアルとして文章化はしておりませんが、情報を迅速かつ正確に伝えるよう配慮しており、「いじめ・不登校対策委員会」を設置し、内容を共有す

ることで、職員全体で生徒を見守るようにしています。最後に、「命の大切さ

はどのように教育されているか」とのご質問ですが、普段から「道徳」の授業では、自他の生命を

尊重することにふれ、「保健体育」の時間では、健康的な生活習慣を形成

できるよう配慮しております。また、自分の命は自分

で守ることができるよう安全教育として避難訓練や交通安全指導などを実施しています。

さらに、本年度は6月23日の保護者学級の際、弓削田健介（ゆげたけんすけ）氏を招き、命を大

切にすることについて、歌とお話をまじえた「いのちと夢のコンサート」を開催しました。

## 名古屋市 いじめ全員アンケート

### 中2転落死受け 来月、小中高で実施

名古屋市南区で市立明豊を合わせた学校生活に関するアンケートを10月実施するが狙いで、市は関連経費847.4万円を盛り込んだ9月補正予算案を10日開会の9月議会に提出する。市教委によると、これまで各校が独自アンケートを実施していた。今回は民間業者に専門的分析を依頼、生徒ら一人ひとりの心理状況やクラスの状態を把握するための項目も設ける。市教委はアンケートの結果をもとに、12月をめどにスクールカウンセラーを各校に追加で配置し、生徒からの相談にきめ細かく応じる体制を充実させる。

「読売新聞」より

## Q. 保育所及び保育園の災害時の対応は

### A. 災害を想定した訓練実施と施設整備を進める



#### 渡邊一弘 議員

現在、村では村民の安全確保のために避難所の建設が進め



保育所避難訓練

基づき行動できるように繰り返し練習を行っています。

村立第一保育所では、家具転倒防止工事、施設全体のガラス面に飛散防止フィルム貼工事を実施し、屋上への避難路を確保するために避難用外階段の設置工事を施工中です。

#### 村長

現在、保育所及び保育園では、毎月、地震や火災などを想定した訓練を実施しています。通常の避難訓練に加え、昨年度に配備しました救命胴衣の着用練習を行い、子どもたちの行動を把握すること、万が一の災害発生に備えて、職員等が状況に応じた的確な判断に

対応策はどのようになっているのか。また園児たちの安全確保のため、今後の取り組みがあるか。

## Q. 小中一貫教育の検証は

### A. 小中一貫教育検証委員会発足の計画は、今後検討していく

渡邊一弘 議員

**Q** 平成24年の教育委員会による点検

と評価の中の1点には交

流活動を通して、お互いを思いやる豊かな心が

育ってきていると書かれてあり嬉しく思いました。

村の総合計画においては

一貫教育を検証し、改善

する段階に移行為、小中一貫教育検証会議の立

ち上げが掲げられていま

す。しかし検証会議の立

ち上げは平成29年の目標

になっていきます。すでに

小中合同の体育祭から5

の取り組み、一貫校が故のメリット、デメリットについて現時点でどう捉えてみえるのかお答えください。

村長

**A** まず、1点目の検証委員会の立ち

上げがされているか、また、平成29年度の計画を

早めてはどうかという件

ですが、現在まで小中一貫教育検証のための委員

会の発足はしていません

し、計画を早めることに

ついては、これから検討

して参りたいと思います。

質問中にもありましたよ

者を招いての「飛鳥村教育委員会に関する点検及び評価」の意見聴取会を

年1回開催していること

です。

2つ目は、地域の有識

者から飛鳥学園の取り組み

に対してご提言いただく

「学校評議員会」の開催

です。この会は、学期

に1回、年間3回実施を

しているところです。

最後は、保護者に向け

運営について、試行錯誤しつつも、着実に前年度より進んだものになって

いると考えます。

次に、「現在までの取

り組み及び一貫校が故の

メリット・デメリットに

ついて、どう感じている

か」、についてですが、小

中一貫教育の成果と課題

にからめて、お話しした

と思います。

平成22年に開校後、3

年が経過し、同居型の小

中一貫教育を推進してい

ることで、「9年間の発

教科指導、生徒指導が可

能である」、「小学校での

教科担任制、小中教員で

のTTT授業等、多様な学

習形態が可能になる」、「

「小学校から中学校への

中1ギャップが軽減され

る」、「幅広い異年齢の交

流活動で社会性や人間性

を育成することができ

る」等、村の願いである

「子ども達の心身ともに

健やかな成長」に込める

ことができていると考え

ます。

また、9年間を通して

の系統的、計画的な教育

活動を実施することで、



飛鳥学園

特に、英語科が小学校から中学校へスムーズにな

がるようになったと言

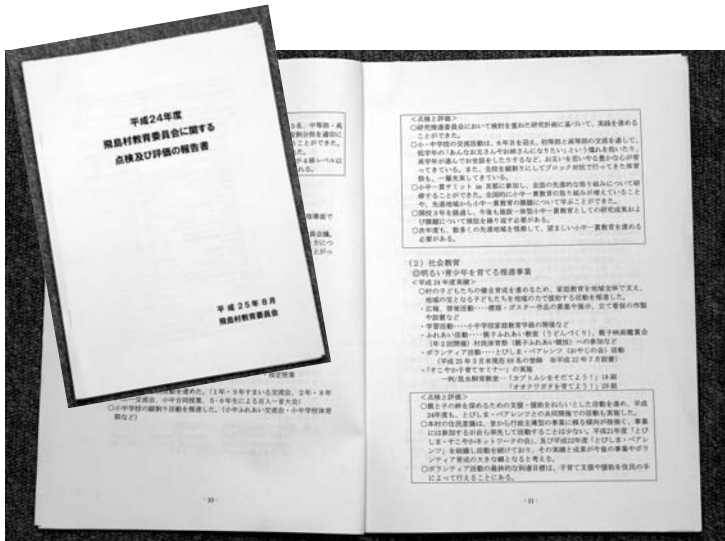
えます。

加えて、中学校の教員

が小学校へ乗り入れ、授

業を行うことにより、児

童の成長過程が把握でき、



「平成24年度飛島村教育委員会に関する点検及び評価の報告書」

一方、課題として、安定的に学園の教育理念を継承するためには、すべての先生方の意識の共有等が必要と感じます。この課題解決は、全職員の一致団結しないと確信する次第です。

## Q. 振り込め詐欺等、防犯の取り組みは

### A. 今後も犯罪の抑止に努める



伊藤秀樹 議員

**Q** 村内の高齢者に対する振り込め詐欺等の犯罪について発生状況を把握しているか。また、その対応はどのようにされているかお尋ねします。

### 村長

**A** 蟹江警察署生活安全課で聞き取り

調査をいたしましたところ、本村において、振り込め詐欺自体は、昨年（平成24年）も、本年（平成25年）にも、発生しておりません。

そういった犯罪に対する啓発といたしましては、蟹江警察署が発行しています、「警察だより」にも振り込み詐欺等の犯罪防止に対する注意喚起が掲載してあります。

この「警察だより」は、本村の広報紙に差し込みをおこない、村内全戸に配布をさせていただいています。

また、村内18カ所の掲示板に注意喚起のポスターを掲示させていただきます。



老人クラブ例会にて

ターを掲示させていただきます。啓発を行っています。さらには、敬老センターにおいて本年8月7日から9月2日までの老人クラブ例会を利用させ

ていただき、人権擁護委員の方による悪徳商法撲滅等の啓発劇を6回開催し457名の方に注意喚起をさせていただいています。

今後についても、高齢者を対象にした振り込め詐欺等を始めとする犯罪の抑止に向けての取り組みを継続していく必要があると考えています。

## Q. 豊根村との交流は

### A. 住民、小中学校間交流を進める

伊藤秀樹 議員

Q 豊根村と避難所などの協定がされ

ました。協定自体は特段反対することはありませんが、議会に経過説明はありましたが、承認を求められたこともなく、村長主導で進んでいるように見受けられます。

今後この協定を機に更なる交流を考えておられ



平成25年1月豊根村議会議員来村

るようですが、議会が聞き及ばないところで進展しているように思え、説明不足の感が否めません。行政以外の関係各所にも十分に説明し理解を求めて計画だけが先行して住民不在にならないように進めていただきたい。

村長

A 豊根村と締結させて

いただいた際の協定は、災害時における相互応援に関する協定

で、応援の種類につきましては、食料、飲料水及び生活必需品の供給、医療関係資機材及び物資の供給、車両の提供、職員

の派遣、被災者の一時受け入れ等があります。防災面において、同時に被災する可能性が少なく

とを想定し、相互応援協定を締結させていただいているところです。

今後につきましては、お互いの村の住民の交流、小・中学校間の交流を行うことを想定しています。

さらには、それぞれの団体、商工会・文化協会・体育協会同士などの交流につきましても、村有バスの使用等を含め、村として必要な支援をさせていただきます。

また、将来的には、お互いの農産物を販売することなどにより愛知県のことで残り2つとなった村同士で、お互いに知恵を出し合い、村にしかできない特性を生かせるようにしていきたいと考えているところです。

## Q. 村の施設を空調化せよ

### A. 改修時期等を捉えながら進める

伊藤秀樹 議員

Q

今年の夏は35度を超える日が続き異常に暑い夏となりました。熱中症で体調を崩す人が多く、なくなられた方もおられます。

飛鳥においても例外でなく、総合体育館等の村が保有する施設内の温度が40度近くになったのではないかと思われ、今後利用者の熱中症が懸念されます。一般企業においては、工場内の空調化および部分冷房が施されるようになり作業環境の改善が図られています。

こういった状況のなかで村が保有する施設（総合体育館・南部体育館・公民館分館体育館・飛鳥学園体育館等）においても空調化を順次する必要があると思いますが、村長のお考えをお聞かせください。

## 村長

**A** 村の施設で空調設備がない施設は、体育館のみであります。

昨今の気象状況下において、体育館の室温が体温を超える酷暑日が幾日もあり、熱中症についても懸念されています。既設の体育館のエアコン機器設置については、可能ではありますが、設

備機器及びダクト設備設置により天井高の確保など、新たに構造上の負荷

等が生じること、屋外空調機器設置場所の確保が必要なため総合的に、また、ほとんどの屋内体育施設が建築後、30年以上経過し、修繕が必要ない個所もあるので、改修時期等を捉えながら慎重に進めていきます。



総合体育館

## Q. 住宅地開発は民間業者の

### 意見を聞き早く進めよ

## A. 地区計画策定委員会を設置、併せて

### 関係者のノウハウを取り入れ計画を進める



## 橋本 渉 議員

**Q** 飛島村は総合計画で人口を5000人と想定し事業を進めています。

その1つに、渚地区に住宅地開発を進めています。土地の販売については行政では困難です。民間業者の協力を得て進めるべきです。飛島村での住宅地開発は価格が安くなければ売れません。そのためには整備費を安くする、面積を狭くするなど努力が必要です。また、少子化対策とし

て子供のいる家庭には補助制度などもつくり推進すべきです。アパート経営の希望者があれば販売も考えるべきです。分譲予定が平成29年からとなっておりますが、整備工事が始まる平成27年より販売を進めるべきです。また、当該地区は市街化調整区域内のため、愛知県の都市計画課へ事前相談を行っており、今後、県の指導のもと「事前協議」を進めさせていただきます。

## 村長

**A** 平成24年1月に渚地区内の地権者のご理解とご協力を賜り、新規住宅地開発事業は、



住宅地開発予定地



村が事業主体で進めておりますが、地区の街並みなどを決める地区計画については、専用住宅・兼用住宅による定住促進を基本に地区計画策定委員会を設置して検討を進めてまいります。

議員の言われるように、開発にあたっては民間業者の意見を聞き、進めたいと思っておりますので、地区計画策定委員会において、地元の業者も選任し、計画案に活かしていきたいと考えております。更には必要に応じて、住宅地開発から宅地販売までの事業について、地元関係業者や経験豊かな民間業者のノウハウを取り入れ、よりよい住宅地開発を進めてまいりたいと考えております。

## Q. 温水プールの無料券の発行を 来年度も実施せよ

### A. 当面の間、招待券配布を継続し 健康保持及び増進に寄与する

橋本 渉 議員

Q

温水プールの無料券は長年発行されて来ましたが、今年から発行を止めると言われていますが、突然、発行されました。

料券は長年発行されて来ましたが、今年から発行を止めると言われていますが、突然、発行されました。

温水プールの無料券は長年発行されて来ましたが、今年から発行を止めると言われていますが、突然、発行されました。

村長

もともと、温水プールは住民の健康増進のためにつくられた施設です。多くの方には、無料で利用できるようにすべきです。無料券の発行を来年度も行うべきです。村長の在職期間中は発行するとの約束を求めます。

A

健康保持と増進及び施設の利活用を促進するため、平成22年度から平成24年度までの3年間の期間を限定して、温水プール・ふれあい温泉の招待券を配布していましたが、村民の方々のご要望が多く、急ぎよ本年5月に招待券を配布しました。今後、当面の間において、配布を継続します。



プール・温泉招待券

## Q. 県道、交番前の横断歩道に 押しボタン式の信号機をつけよ

### A. 関係機関と信号機の設置に向けて 協議を進める

橋本 渉 議員

Q

交番前の横断歩道は通学路に指定されており、毎日子供たちが渡っています。

多くの方から安全対策として信号機をつけるよう求められていますが、なかなか、つきません。

子供たちの命を守ることを最優先として考えるべきです。事故があつてからでは遅いのです。

地域のみなさんにも協力を求め早急に押しボタン式の信号機を設置すべきです。

村長

A

朝夕時は、通勤車両が多く、県道を横断することが困難な場合もあります。安全に横断するには、信号機が一番いいとわかっておりますが、信号機の設置は、公安委員会が行う行為であり、村での設置はできません。公安委員会であ



南部交番前

る蟹江警察署には、要望  
をしておりますが、現在  
のままの道路形態では、  
設置が難しいとも聞いて  
おりますので、今後は関  
係機関と信号機の設置に  
向けて協議を進めます。  
なお、信号機が設置さ  
れるまでは、今までどお  
り、シルバー人材セン  
ターに委託して、通学路  
に交通安全指導員を配置  
して安全に横断できるよ  
うにしていきます。



今定例会で提出され  
た意見書は次のとおり  
です。

提出者 鈴木義男  
(全員賛成で採択)  
提出先  
衆議院議長・参議院  
議長・内閣総理大臣・  
内閣法第9条の第1順  
位指定大臣(副総理)・  
内閣官房長官・総務大  
臣・内閣府特命担当大  
臣(地方分権改革)・  
道州制担当

◎消費税増税中止を求  
める意見書  
提出者 渡邊一弘  
(全員賛成で採択)

提出先  
内閣総理大臣

◎蟹江警察署建て替え  
の早期実現を求める  
意見書

提出者 井田晴己  
(全員賛成で採択)  
提出先  
愛知県知事・愛知県  
警察本部長

◎道州制導入に断固反  
対する意見書

提出先  
内閣総理大臣・内閣  
官房長官・文部科学大

◎定数改善計画の早期  
策定・実施と義務教  
育費国庫負担制度の  
堅持及び拡充を求め  
る意見書

提出者 伊藤秀樹  
(全員賛成で採択)  
提出先  
内閣総理大臣・内閣

提出先  
内閣総理大臣・財務  
大臣・文部科学大臣・  
総務大臣

「蟹江警察署建て替えの早期実現を求める意見書」提出



知事公舎にて



県警本部にて

◎国の私学助成の増額  
と拡充に関する意見  
書

提出者 服部康夫  
(全員賛成で採択)  
提出先  
内閣総理大臣・財務

◎愛知県の私学助成の  
増額と拡充に関する  
意見書

提出者 加藤光彦  
(全員賛成で採択)  
提出先  
愛知県知事